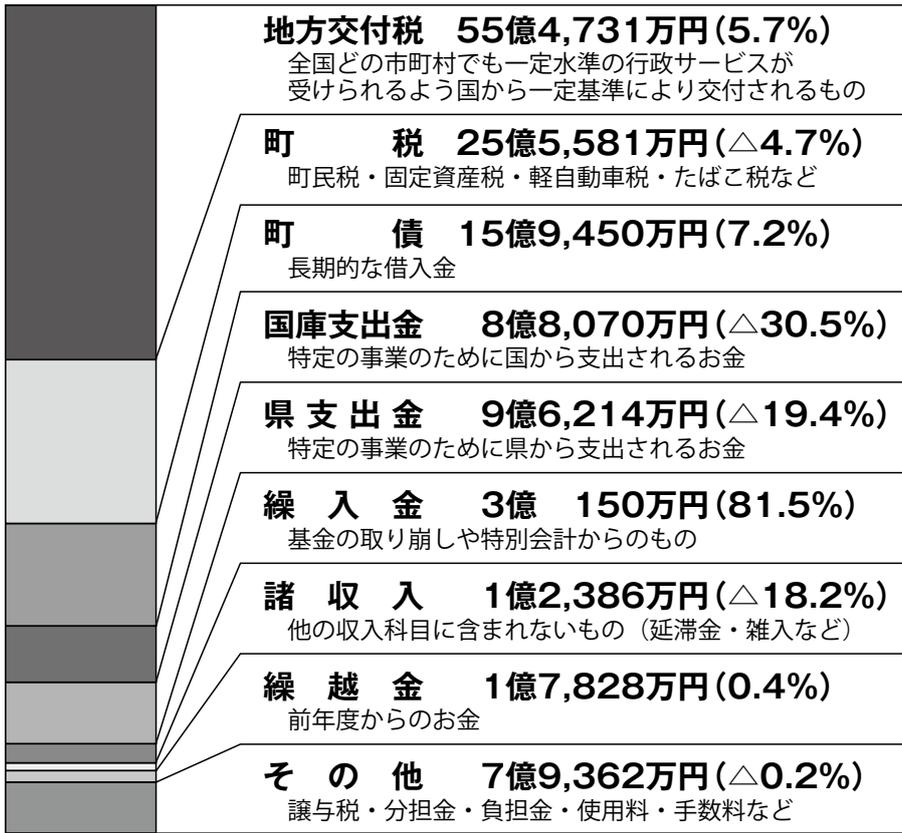


一般会計

歳入 129億3,772万円(△1.7%)

※()数字は前年増減比



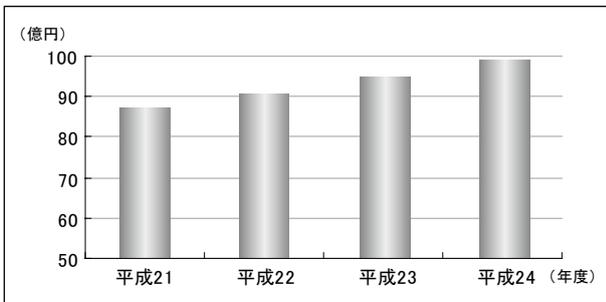
平成24年度 一般会計決算概要

■歳出
新本庁舎建設事業などにより総務費が2億9,288万円、台風など災害により災害復旧費が5億7,117万円それぞれ増加したものの、製紙工場排水処理施設の整備補助や仁淀病院への出資金の皆減などにより衛生費が1億9,473万円、社会資本整備総合交付金事業や経済対策事業などの減少により土木費が1億9,048万円それぞれ減少したことにより、前年度より2億6,632万円の減少となりました。

■歳入
町債では緊急防災・減災事業債の皆増などにより1億6,500万円の増、地方交付税が3億1,480万円のそれぞれ増加となりましたが、企業収益の減による法人税の減少や評価替えによる固定資産税の減少などにより町税が1億2,504万円、きめ細かな交付金の皆減などにより国庫支出金が3億8,601万円、県支出金が2億3,117万円それぞれ減少したことにより、前年度より2億2,691万円の減少となりました。

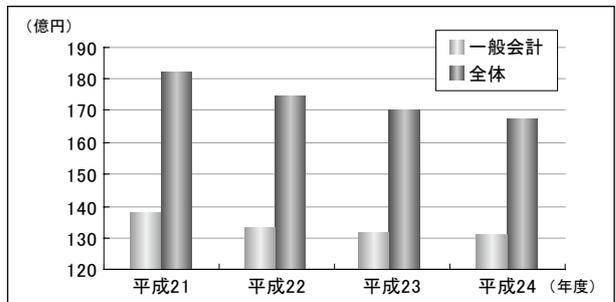
平成24年度一般会計の決算、歳入総額は129億3,772万円、歳出総額は125億6,903万円で歳入歳出の差し引き額は3億6,869万円となっております。翌年度へ繰り越すべき財源81,111万円を差し引いた実質収支額は2億8,758万円の黒字となり、前年度よりも13,122万円の減少となっております。

基金(貯金)の状況



将来の財源不足や支出に備えるため基金という形で貯金をしています。
財政調整的な基金や施設等整備基金の積み立てにより前年度と比べ4億4,253万円(4.7%)増額し、残高は98億9,670万円となりました。

町債(借金)の状況



地方債償還のピーク(平成18年度)が過ぎ、残高は前年度と比べ一般会計では5億146万円(0.4%)、町全体(公営企業除く)では2億5,778万円(1.5%)の減少となりました。
財政状態を示す実質公債費比率は13.6%で前年度より1.2ポイント下がりました。